

とりたて新鮮な農産物 - 大泉直売所「さくら」 -



新鮮な野菜がならぶ直売所内（9時〜16時 定休日火曜日）

4月28日、大泉地区（つくば益子線沿）に、桜川北部ふるさとづくり協議会による直売所「さくら」がオープンしました。直売所一帯は、市内の農村集落モデルに発展させることを目的に整備しており、同協議会は丘陵地帯を拠点にした農産物直売や農業体験による地域住民や都市住民（消費者）との交流を図り、景観を保全し、持続性のある活動を行っています。直売所には、朝採りたての新鮮な農産物や特産品がありますので、ぜひ一度足を運んでみてください。

新緑の関東ふれあいの道を 387人がハイキング



上り坂の途中、景色を楽しみながら歩く「駅からハイキング」の参加者

5月16日（日）JR東日本主催の「駅からハイキング」が市内で開催され、参加者は岩瀬地区の御嶽山から雨引山を経由して、つくばりんりんロードを歩きました。岩瀬駅で下車した参加者は、コースマップを受取り出発しました。歩行距離約14kmのこのコースは、眺めの良い人気のコースで普段から利用者も多く、コース上では地元ボランティアの飲食物のサービス、手打ち蕎麦のもてなしもあり、参加者は初夏の陽気の中、ハイキングを楽しみました。

真壁体育館にスリッパの寄贈



寄贈されたスリッパ100足を手に取る教育長と贈呈者（写真右：鈴木会長、写真左：奥田正二さん）

真壁ダンススポーツクラブ（鈴木真一 会長）から真壁体育館に、スリッパ100足の寄贈がありました。これは、同クラブ主催の「第18回チャリティー社交ダンスパーティー」を開催した際の、募金の一部を使い寄贈されたものです。鈴木会長は、「日頃利用している体育館に何か貢献したかった」「公共施設を利用してスポーツを楽しんでいただく方に、大切に使用していただければ」と話していました。

「真園会」が社会福祉施設に 野菜のプレゼント



真園会（官間会長）写真最後列左からプレゼントされた野菜を受取る園生たち

真壁町地内の青年農家14人で構成される「真園会」（草間祐一 会長）が、市内にある社会福祉施設の真壁授産学園、真壁厚生学園、紫峰厚生園にこどもスイカ、キュウリ、トマトをプレゼントしました。これは、同会が丹精込めて作った初夏の味覚を園生に味わってもらおうと毎年実施しているもので、今年で15回目を迎えました。今年も、天候不順で野菜の生育に影響があったが、また喜んでもらえてうれしいです。」と草間会長は話していました。

南飯田小学校3年生が 農業について勉強



来栖さん宅の納屋で、お米作りの紙芝居を楽しむ児童たち

南飯田小学校の3年生（41人）が、総合的な学習の時間に南飯田地区の来栖幸助さん宅を訪れ、農業についての勉強をしました。これは、「ふるさと」のよさを見つけてよう」という活動の一環として実施されました。来栖さん宅では、米作りについての自作紙芝居を見せていただき、お米が籾から次第に苗、稲、玄米、白米に姿を変えていく様子を分かりやすく教えていただきました。また、トラクターなどの農業用機械についての説明もしていただきました。

ナイチンゲールの精神を受け継ぐ - 岩瀬高校戴帽式 -



蝋燭の灯りのもと、厳粛な雰囲気の中で行われた戴帽式

6月9日、岩瀬高校体育館で、第39回戴帽式が行われました。岩瀬高校衛生看護科3年生の40人が枝川校長からナースキャップを戴き、蝋燭に火を灯しました。そして、「ナイチンゲール誓詞」を唱え、ナイチンゲールの精神を受け継ぎました。「看護学習に誇りを持って取り組んでほしい」「患者様に対する思いやりに身に付けてほしい」と校長先生のあいさつの後、生徒代表者が「ナイチンゲールの心を忘れることなく患者様に尽くすことを誓います。」と、宣誓しました。

「紫尾小学校エコクラブ」が 環境保全茨城県民会議で表彰状



環境保全茨城県民会議議長から表彰状が贈られた紫尾小学校エコクラブ児童の皆さん（写真は6年生の代表児童）

桜川市立紫尾小学校エコクラブは、自分でできる身近な環境保全活動に取り組んできたことが認められ、環境保全茨城県民会議議長から表彰状が贈られました。紫尾小学校では、平成20年度から3年生以上の児童全員が「こどもエコクラブ」に加入。4年生の児童が提案したエコキャップ集めをきっかけに、4年生や6年生での牛乳パックの回収、全校でのアルミ缶の回収などリサイクル活動の取組みを実施していることが今回認められたものです。

第1回岩瀬ライオンズクラブ杯 少年野球大会開催



第1回岩瀬ライオンズクラブ杯少年野球大会は、市内を含む県内外からスポーツ少年団16チームが参加しました。

5月8日（土）桜川運動公園などを会場に、第1回岩瀬ライオンズクラブ杯少年野球大会が開催されました。この大会は「青少年の健全育成」「社会で活躍できる人材育成」に貢献することを目的に実施され、6年生の部と5年生以下の部の各々の組合せで県内外から16チームが集まり熱戦が繰り広げられました。惜しくも市内チームから上位入賞はありませんでしたが、個人賞では、市内スポーツ少年団から優秀選手賞が4人、敢闘賞が1人選ばれました。